

議会運営委員会会議録（要旨）

日 時	平成29年5月11日（木） 午前10時00分～午前11時45分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 加藤和男 副委員長 じんの和子 委 員 青山直道 大島令子 木村さゆり 佐野尚人 なかじま和代 吉田ひでき
職務のため出席した者の職氏名	議 長 伊藤祐司 委員外議員 岡崎つよし 事務局長 福岡隆也 主幹 貝沼圭子 専門員 大谷悠

1 あいさつ 議長、市長

（委員長） はじめに委員外議員の出席について諮る。

平成28年12月19日の委員会において、議長の諮問事項及び議会運営に関する助言をするため、平成29年4月末日までに招集する委員会に委員外議員として、岡崎つよし議員の出席を求めることに決した。本日の委員会においても同様に岡崎つよし議員を委員外議員として出席を求めたいが、異議はあるか。

＜ 異議なし ＞

異議なしと認めるので、委員外議員として岡崎つよし議員の出席を求めることに決した。

2 議題

(1) 平成29年第1回長久手市議会臨時会について

ア 付議予定議案について

＜説明：総務部長＞

- ・ 承認第1号及び承認第2号（議案の概要のとおり）

＜説明：大島委員＞

- ・ 意見書案第1号（意見書案のとおり）

（委員長） 説明のとおりでよいか。また、意見書案を議員提出議案として提出することとしてよいか。

＜ 異議なし ＞

イ 会期日程について

<説明：事務局>

- ・ 5月18日限り。ただし19日を予備日とする。

(委員長) 説明のと通りの会期日程でよいか。

<異議なし>

ウ 議事日程について

<説明：事務局> (議事日程第1号のとおり)

- ・ 第1号 会議録署名議員 (山田けんたろう議員、じんの和子議員)

会期の決定、諸般の報告、諸般の報告に対する質疑、承認第1号及び承認第2号 (上程・説明・議案質疑・委員会付託)、意見書案第1号 (上程・説明・議案質疑・委員会付託)、承認第1号、承認第2号及び意見書案第1号 (委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論採決)、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任

- ・ 委員会審査は総務委員会、教育福祉委員会の順で行う。

(事務局) 採決後に正副議長が辞職した場合、選挙を日程に追加して変更する。また特別委員会委員や一部事務組合議員が辞職した場合、急施を要する件として日程に追加する。

(委員長) 説明のと通りの議事日程でよいか。

<異議なし>

エ その他

<説明：事務局>

- ・ 総務委員会付託議案 (条例1件、意見書案1件)
- ・ 教育福祉委員会付託議案 (条例1件)
- ・ 議会運営委員会確認事項等 (5月臨時会／一部事務組合議員改選の年)
- ・ 説明員の座席変更 (別添議場配席表のとおり。なお、今後の議事によってはくらし文化部相談監が議場に入る可能性あり。)

(委員長) 説明のと通りの内容でよいか。

<異議なし>

(2) 予算決算審査の常任委員会化について

(委員長) 前回の議会運営委員会において、予算、決算特別委員会を常任委員会化し、全議員を委員とし、分科会を設置する (以下「パターン1」という。) ことを基本とする案に決定したが、課題となっていた事項について各会派で話し合った結果を述べてほしい。

(公明党) 今後の課題として、常任委員会及び分科会の数を3つから2つにし、1委員会あたりの委員数を増やす。また、議長及び監査委員は委員からは除く。視察は、近隣市町に行ってはどうか。分科会方式の試行は、まず視察を行った上で

検討すべきである。

(政策グループガイア) 常任委員会及び分科会の数は現行どおり3つとし、監査委員のみを委員から除く。所管は、予算関連議案すべてを予算決算常任委員会で審査する。また、分科会にも市長・副市長は出席してもらうべきではないか。

(無会派) 一度試行でやってみればよい。委員数は現行と同じでよい。

(創政クラブ) 現行の3常任委員会と同じ委員で分科会を組織し、議長と監査委員を除くと、委員が5人になる分科会があり審査する人数が少なくなるため、将来的には常任委員会を2つとし、各分科会委員を8人にするとよいのではないか。分科会方式の試行は、現行の委員数が少ない中で実施するのは厳しい。所管は、予算関連議案すべてを予算決算常任委員会で審査する。視察は、議案の分割付託を解消するために分科会方式にした議会とは条件が異なるため、同条件で同規模の議会を探すべきである。

(長久手グローバルネット) 現行の体制でできる分科会方式の試行を早期に実施し、その結果出てきた課題を整理する。所管は、予算関連議案すべてを予算決算常任委員会で審査する。委員から除くのは監査委員のみとする。視察は、試行の前、後にこだわらない。

(市民ネット) 分科会方式について調べると様々な課題が見つかり、9月の議会で試行するのは難しいのではないかという結論に達した。視察はなるべく同条件の近隣市を選定し、視察後に出た課題について慎重に議論すべきである。所管は、予算関連議案すべてを予算決算常任委員会の所管とする。議長や監査委員を除かず分科会を実施している議会もあるため、全員を委員としてもよい。仮に議長と監査委員を除いて3分科会を実施すると審査する委員が少ないため、複数の分科会に属し委員を増やすことも考えられるが、その委員は他の委員と比べ負担が大きくなるため課題である。

(改革ながくて) 常任委員会は2つに減らし、分科会も2つとする。議長は委員から除き、監査委員は決算に関する議案のみ除く。所管は、予算関連議案すべてを予算決算常任委員会で審査する。分科会方式の試行は、視察や議論ばかりで前に進まないため9月の議会で実施してみるとよい。視察は、近隣市で分科会方式を実施している議会とする。

(委員) 分科会方式の試行の内容はどうか。現行の常任委員会は3つなので分科会も3つとなるが、分科会で審査する委員が少ないとの意見も出ている。それとも常任委員会は3つだが、分科会は2つで委員を各8人とするのか。次期議会運営委員会の委員で議論していく必要がある。

(副委員長) 分科会方式を試行するにもルールが必要である。委員から除外する議員についても意見が分かれているので、視察を実施して課題を整理した上で試行を検討すべきである。

(委員長) 課題はあるが、9月の決算特別委員会から分科会方式を試行できるよう目標を設定していきたい。常任委員会は3つだが、例えば分科会は2つに分け、各

委員会に付託された予算関連議案は2つにバランス良く分けることも考えられる。

(委員) 常任委員会と分科会を切り離す前提だと、これまでの議論と大きく条件が変わってしまうので、一度会派で相談させてほしい。

(委員) 9月の決算特別委員会での試行なら、3常任委員会と同じ委員で分科会を3つ構成すべきである。

<午前11時08分休憩>

<午前11時15分再開>

(議長) 分科会方式を提案した背景は、従来多くの市議会が実施していた分割付託を解消する目的で、また予算決算に係る議案は非常に重要な議案であり、可能な限り議員が意見できる場を確保するため、議員全員で審査することが経緯である。分科会委員から議長を除くのは、本会議での採決において賛否同数になった場合に議長が賛否を決定するため、それまでは公平中立でなければならない議長を分科会委員から除外すべきであること、また監査委員を除くのは、慣例で特別委員会の委員から監査委員は除いているためである。議長と監査委員を除く16人の議員で審査をするにはどうしたらよいかは課題だが、この際常任委員会の数を2つにし、委員の定数を変えるのも1つの方法ではないか。早期に試行することになれば、現行の人数で実施することになると考える。予算決算常任委員会として活動するなら、本会議での全員参加の討論とは区別することの担保が必要である。

(副委員長) 現行の委員会体制で分科会方式を試行する場合、常任委員会は各6人で審査し、分科会は議長と監査委員を除いた人数で審査するのか。

(議長) それがよいと考える。現行でも総務委員会は議長が委員となっており、本会議で公平中立が保てないため課題であると感じる。

(委員長) 分科会方式実施の準備のため、6月の定例会に会議規則の改正議案を提出したいと思うがよいか。

<異議なし>

(委員長) 9月の決算特別委員会で試行することを考えていたが、様々な課題が出てきたので、もう一度会派で相談してほしい。この課題は次期議会運営委員会に申し送り、議論することでよいか。

<異議なし>

3 その他

(議長) 臨時会における服装について、市役所職員が5月8日からクールビズを実施していることから議員もクールビズでよいと考えるがどうか。臨時会の日に議会だより用写真を撮影するが、7月1日発行なのでクールビズでよいと考える。

(委員) 議会ホームページのトップページ集合写真も撮影すると思うが、クールビズでよいのか。

(事務局) 今回は議席の変更がないので撮影しない。

(委員長) 議長の提案どおりとしてよいか。

<異議なし>

(副委員長) 主に予算、決算特別委員会の会議録について、課長の説明がない、発言の趣旨が異なる、重要な発言の記載がないと聞いた。本会議と同様、会議録の全文筆記を外部委託してはどうか。予算を伴うので検討してほしい。

(事務局) 意思の齟齬がないよう要約し、事務局及び委員長で確認の上作成している。議案の説明部分も会議録に記載すると分量は相当多くなる。同一議案に対し同じ質問があった場合は、どちらか一方を整理しているが、あえて違う解釈にすることはない。

(議長) 情報公開の観点から、記録はなるべくありのままを公開していくことがよいとは思いますが、費用対効果や予算を考えると次の定例会からというのは難しい。外部委託しては委員長報告には間に合わないが、定例会後でも全文筆記の会議録が必要であれば外部委託も検討すればよい。現状を踏まえて考えてほしい。

(委員長) 外部委託するかどうか次回議会運営委員会で議論することとしてよいか。

<異議なし>

次回は5月30日(火)午前10時
以上で議会運営委員会を終了する。